

第4章 県政への自由意見について

県に力を入れてほしいことや、県が取り組むべきだと思うことについて、何でもお気軽にお聞かせください。（問４）

【集計の方法】

回答を内容により秋田県総合計画の政策・施策ごとに分類した。同一の回答者が複数の意見を記入している場合には、項目を分けて別意見として扱っている。

1 自由意見の項目別件数

項番	施 策 名	件数
政策１	未来づくり	218
１－１	移住・定住で未来を拓く「あきた暮らし」を実現する	54
１－２	出会いから子育てまで希望が持てる社会を実現する	109
１－３	誰もが自分らしくいられる魅力ある地域社会を構築する	55
政策２	観光・交流	180
２－１	「心が動くあきたの観光」を実現する	53
２－２	「あきたの美酒・美食」のブランド力と販売力を強化する	7
２－３	誇りと賑わいあふれる「スポーツ立県あきた」を実現する	43
２－４	文化芸術が紡ぐ彩り豊かな秋田を創り出す	9
２－５	暮らしと交流を支える交通ネットワークを構築する	68
政策３	農林水産	56
３－１	日本の食を支える農業を実現する	41
３－２	森の恵みを未来へつなぐ林業・木材産業を実現する	5
３－３	環境変化に対応した新たな水産業を実現する	7
３－４	活力あふれる明るい農山漁村を実現する	3
政策４	産業	185
４－１	「人への投資」と経営革新により中小企業の経営基盤を強化する	119
４－２	成長分野への参入とイノベーションの促進により県内企業の挑戦を後押しする	13
４－３	人材を呼び込むGX関連産業等の集積を図る	53
政策５	健康・医療・福祉	89
５－１	持続可能な医療・介護サービス提供体制を構築する	59
５－２	誰もが健康的に自分らしく暮らせる社会を実現する	22
５－３	複雑・多様化する社会課題に対応できる相談・支援体制を整備する	8
政策６	教育・人づくり	71
６－１	全てのこどもの健やかな心身と自ら学ぶ意欲を育てる	27
６－２	新時代をたくましく生き抜く力を育てる	16
６－３	「こどもまんなか社会」を支える環境を整備する	15
６－４	地域社会の発展と産業振興に資する高等教育機関を活性化する	9
６－５	誰もが生涯を通じて学び活躍できる環境を構築する	4
政策７	防災・減災・県土強靱化	51
７－１	気候変動等に対応した災害に強い地域社会を実現する	18
７－２	社会経済活動を支えるインフラを強化する	12
７－３	持続可能なインフラマネジメントを実現する	21
政策８	環境・暮らし	226
８－１	豊かな自然と良好な環境を次世代に継承する	166
８－２	カーボンニュートラル（ネット・ゼロ）の実現に向けた地域社会を形成する	0
８－３	犯罪・事故のない誰もが穏やかで安全に暮らせる地域を実現する	54
８－４	快適で質の高い生活環境を実現する	6
その他	県政全般に対する意見・その他	331
合 計		1,407

2 主な自由意見

924 人から 1,407 件の意見があり、一部を抜粋して掲載する。なお、誤字等は校正しているため、掲載文は回答の原文とは異なる場合がある。

政策 1 未来づくり

施策 1 移住・就職で未来を拓く「秋田暮らし」を実現する

- 秋田に住んで頑張ろうと考えている世帯も大事にしてほしい。定住するという選択で家建てるとなった時の支援や、秋田に住んでいる人が空き家を買う時の支援など、地元でこんなに支えてくれるのなら、地元で頑張ろうと思える支援を充実させてほしい。(女性／40 歳代／秋田地域)
- 秋田県には、豊かな自然や落ち着いた生活環境、おだやかな県民性など、他県との差別化できる事柄は沢山あるので、そこに力を入れて、移住者を増やしてほしい。(男性／50 歳代／仙北地域)
- 若者にとって魅力的な職場があっても、情報が少なく、届いていないのではないかと。(女性／18～19 歳／－)
- 小さくても「教育の場の維持」があり「魅力ある企業」があれば、県内に住む若者が県外流出せず、県内に定着し、「良い環境が整っている秋田県」に県外から移住する方々も増えて賑わうのではないかと。住む場所のサポートや補助金があれば更に良い。(男性／50 歳代／秋田地域)
- 都会からの山村留学（小学生から大人まで）を行う市町村を増やし、交流をすることで秋田の良さを子どもとその親にも知っていただき「口コミ」で秋田に興味を持つ人が増えるようにして未来につなげたい。(女性／40 歳代／仙北地域)

施策 2 出会いから子育てまで希望が持てる社会を実現する

- こどもの出生率を上げる事が第一優先。出産時の補助金の拡大やこどもが通院して親が仕事を休んだ際の支援など考えられないか。まずは、こどもを育てても生活が圧迫されないようにすることが必要。(男性／20 歳代／秋田地域)
- 子育て世代が安心して産み育てられるよう、出産時の賃金の保障や産婦人科の確保、親子の居場所作り、こども 1 人当たりの食費補助などが必要。(女性／40 歳代／秋田地域)
- 少子化対策について、まずは、若者が結婚することに意義を見いだせない理由は何かを深掘りしたらどうか。(男性／70 歳以上／山本地域)
- 移住・出産に期待するのはどうか。多様な人生観がある今の世の中で、結婚してこどもを産む人生を選択する人が少ないのも現実。(女性／40 歳代／北秋田地域)

- 雪の日や雨の日にこどもたちを遊ばせる施設がほしい。県としても、移住を促進する上での強みになるのではないかな。(女性／70 歳以上／秋田地域)

施策 3 誰もが自分らしくいられる魅力ある地域社会を構築する

- 増え続ける空き家を、次世代の者が全て背負うには限界がある。処分するにも負担が大きく、手をつけられずにいる人が沢山いる。何らかの対応を検討していただきたい。(男性／50 歳代／秋田地域)
- 女性の活躍について、女性の管理職候補が少ないということは、女性側の「管理職になりたい」意識が低いことも要因なのではないかな。男女共同参画をより推進するのであれば、その意識の変革を促す施策も必要なのではないかな。(男性/40 歳代/地域)
- 地域のコミュニティが崩壊しつつあるので、市町村へ働きかけ、近隣の集落と共同できるような援助や指導を行い、崩壊を防止してほしい。(男性／70 歳以上／秋田地域)
- 秋田県に住める喜びを県民が再認識できる様な視点が大事ではないかと思う。高齢化しても安心して暮らせるように、地域とのつながりを大切にできる思いやりのあるコミュニティの社会を望む。(男性／50 歳代／雄勝地域)
- 人口減少が進む中で、県としてどのようなまちづくりを目指しているのか、その方向性を具体的に示してほしい。(その他／40 歳代／ー)

政策 2 観光・交流

施策 1 「心が動くあきたの観光」を実現する

- 秋田には誇れるものがたくさんあるのに、その魅力を伝えるのがあまり上手ではないと感じる。東北の中でもインバウンドが少ない現状を見ると、発信力の強化や話題づくりが必要なのではないかな。若い世代や県外の人の視点、SNSを活用した国内外へのPRなど情報発信に期待する。(女性／40 歳代／秋田地域)
- 観光客を呼び込むためには、交通の整備や宿泊施設の増設、宿泊先周辺の店の活性化など、また来たい・住みたいと思えるような政策が必要。(女性／20 歳代／山本地域)
- 秋田は観光地が少ないと感じている。名産や行事（花火大会等）はあるが、恒久的に来てもらうためにはその場所自体に魅力があることが重要ではないかな。(女性／20 歳代／秋田地域)
- 秋田の玄関口である秋田駅前の活性化が大事。観光をするにしても、秋田駅が起点となるので、情報が収集できる、レンタカーが分かりやすく借りられるなど、観光で使えるものがコンパクトになっているといい。(女性／40 歳代／秋田地域)

- 観光PRについて、東京だけではなく、札幌・大阪・福岡など他の地方都市にも拡大するべきではないか。（男性／30 歳代／仙北地域）

施策2 「あきたの美酒・美食」のブランド力と販売力を強化する

- 農林水産業が衰退しないためにも、秋田県産の素晴らしい日本酒、食品について、県外や海外への販路拡大を進めてほしい。（－／－／－）
- 秋田の美味しい食べ物や酒について、知ってもらうためのPRの方法を考え直す必要があるのではないかな。酒蔵見学など、知ってもらってさらにそれを地元で食べてもらえるようなキャンペーンがあれば良い。（男性／50 歳代／雄勝地域）
- 県内の観光地のお土産が必ずしも県産品ではない事にがっかりすることがある。お菓子や食料品などのお土産品の製造については、県が後押ししても良いのではないかな。（女性／60 歳代／由利地域）

施策3 誇りと賑わいあふれる「スポーツ立県あきた」を実現する

- サッカースタジアムの整備を早急に実施してほしい。プロスポーツは衰退する秋田県にとって賑わいを創出する希望の光だと思う。（男性／20 歳代／秋田地域）
- 秋田県にサッカースタジアムは不要。そのお金でクマ対策や賃金値上げ、医療・福祉の充実に取り組んでほしい。（女性／40 歳代／由利地域）
- サッカースタジアム建設について、サッカーだけでなく、他のイベントに利用ができれば有用性があるのではないかな。（女性／50 歳代／秋田地域）

施策4 文化芸術が紡ぐ彩り豊かな秋田を創り出す

- 秋田は吹奏楽など音楽も盛んなので、スポーツと同じように音楽にも県として力を入れてほしい。（女性／40 歳代／秋田地域）
- 一流アーティストのコンサートやロックフェス、アニメフェスなど集客できる要素がもっと増えれば、魅力ある街となり、若者は出て行かないのではないかな。（女性／60 歳代／由利地域）

施策5 暮らしと交流を支える交通ネットワークを構築する

- 県央から離れた地域の生活環境は、医療・交通等においては、不便を感じる事が多々ある。広い視野での対応を望む。（男性／50 歳代／由利地域）
- 乗り合いタクシーは乗れる場所まで行く必要があるなので、歩くのが大変な場合、病院に行けないことがある。自宅前で乗降可能となるよう対応をお願いしたい。（－／－／－）

- 他の都市への交通網を整備し、秋田に住んでいても気軽に行けるように、また、県外からも容易に来てもらえるようにしてほしい。（女性／50 歳代／秋田地域）

政策 3 農林水産

施策 1 日本の食を支える農業を実現する

- 担い手不足が深刻な農林水産業における新規就業者の確保・育成が必要。（男性／50 歳代／秋田地域）
- 秋田は農業産品の生産県として、米以外に日本一になれるような農産物、果物の生産に力を入れてほしい。（男性／60 歳代／秋田地域）
- 農業法人を合併し、米作りだけでなく、野菜・花・果物等、通年で生産する体制を構築し、正社員として雇用を生む会社を創設できないか。（男性／70 歳以上／北秋田地域）
- 農業のスタートアップを支援することにより、楽しいと思える稼げる農業、食のブランド化が進められるのではないかと。（男性／70 歳以上／仙北地域）
- デジタルや A I を駆使しての効率的農漁業の振興など、若者が夢を持てる第 1 次産業の構築が必要。（男性／70 歳以上／秋田地域）

施策 2 森の恵を未来へつなぐ林業・木材産業を実現する

- 昔苦労して植えられた杉林が手つかずとなっており、残念。（男性／70 歳以上／仙北地域）
- 林業は里の人々の生活を守ってくれるものであるが、手入れされていない山があり心配である。（女性／60 歳代／秋田地域）

施策 3 環境変化に対応した新たな水産業を実現する

- ハタハタを毎年安定して食べられるようにしてほしい。（男性／50 歳代／秋田地域）
- 水産業は秋田の強み。徹底的に強化してほしい。（男性／40 歳代・北秋田地域）

施策 4 活力あふれる明るい農山漁村を実現する

- 漁村農村に住む人は、村を仕事場にして、都市部のマンションなどの集合住宅に住むなど、生活スタイルを変化させてはどうか。（男性／60 歳代／秋田地域）
- 耕作放棄地は必ず増加する。農家の人々の環境美化意識で今の農山漁村が守られているが、高齢等の問題で難しい状況になりつつある。土地が荒れるとますますクマなどの動物が里に来るので、担い手としてはやれる事は頑張るが、個人農家なので負担が大きい。（男性／50 歳代／由利地域）

政策 4 産業

施策 1 「人への投資」と経営革新により中小企業の経営基盤を強化する

- 最低賃金は上がったが、物価高騰のため厳しい生活状況に変化は無い。更に上げてほしい。(女性／20 歳代／秋田地域)
- 後継者のいない企業や商店の数が多い。県外も視野に入れて後継者のマッチングを支援してはどうか。(男性／60 歳代／平鹿地域)
- 県内中小企業の生産性向上に向けたデジタル化（A I 等導入）やリスクリングを促進する必要がある。(男性／40 歳代／秋田地域)
- 若者が就職で秋田から出ることのないように、魅力ある企業の発展や賃金のアップ、働きやすい環境の整備が必要。(女性／50 歳代／秋田地域)
- 企業が若い人材を求めているのは理解できるが、物価高の昨今、高齢者にも厳しい現実があるため、高齢者の就労について支援してほしい。(女性／60 歳代／雄勝地域)

施策 2 成長分野への参入とイノベーションの促進により県内企業の挑戦を後押しする

- 洋上風力発電について、グローバル製造業の誘致や洋上風力サプライチェーン企業の集積、O & M(運転・保守)・人材育成拠点としての全国的地位の確立など、日本における中核地域を目指し、強力かつ迅速な政策展開をお願いする。(男性／60 歳代／秋田地域)
- メガソーラー、風力発電は増やさないでほしい。これ以上、美しい山や田園風景を壊さないように切に願う。(女性／60 歳代／仙北地域)
- 若者の起業に対し補助していただきたい。(男性／40 歳代／北秋田地域)

施策 3 人材を呼び込む G X 関連産業等の集積を図る

- 若者の県外流出を止め、かつ、県内に残るために必要な働く場を確保するため、企業誘致をしてほしい。県内企業と連携できる業種の企業やこれから発展していくデジタル・A I 関連の企業の誘致が必要。(男性／50 歳代／由利地域)
- 限られた予算の中では、全ての分野・事項について満足できるような政策はできない。取捨選択をすべきだが、あるべき将来の秋田県を見据え、成長産業の誘致などの施策に重点を置くべき。(男性／70 歳以上／平鹿地域)

政策 5 健康・医療・福祉

施策 1 持続可能な医療・介護・サービス提供体制を構築する

- 秋田県は高齢者の割合が高いことから、医療機関の更なる拡充が必要。秋田市内では医療機関は確保されているが、県北や県南では医療過疎といわれる地域もある。県には医療格差の解消に努めていただきたい。(男性／50 歳代／秋田地域)
- 高齢者が増加している一方で、介護の働き手・介護職を目指す学生が減っており、人手不足である。介護の人材確保に積極的に取り組んでほしい。(女性／50 歳代／由利地域)
- 医師の高齢化で閉院する個人経営の医院や、病院でも産婦人科で出産をやめるところがある。安心して医療を受けられる環境と安心してこどもを産める環境が必要。(女性／30 歳代／由利地域)
- 介護サービスについて、提供体制の充実のほか、分かりやすい利用方法や料金の見直しに取り組んでほしい。(女性／30 歳代／北秋田地域)
- 国内医師数は一定の増加傾向にあるものの、首都圏や大都市に集中し、地方では医師不足（特に外科や産科）が続いている。秋田大学でも県費を投入して地域枠を確保しているが、これらお金をかけた学生に残ってもらうため一歩踏み込んだ対策が必要ではないか。有能な医師に一人でも多く秋田県に定着してもらいたい。(男性／60 歳代／秋田地域)

施策 2 誰もが健康的に自分らしく暮らせる社会を実現する

- 医療・福祉の連携により、障害者も高齢者も地域で自分らしく生活できるサービスの充実を進めてほしい。(女性／40 歳代／秋田地域)
- 寝たきりで長生きするような生き方はしたくないと思っている。健康で過ごしてこそその長生きだと思うので、健康で生きるための知識を広めてほしい。(女性／60 歳代／北秋田地域)
- 障害者でも健常者でも差別無く同じ立場で働ける環境を整えてほしい。(女性／50 歳代／由利地域)

施策 3 複雑・多様化する社会課題に対応できる相談・支援体制を整備する

- 問題が深刻化・複雑化し、生活が困難で誰にも頼る事ができない人のため、相談できる場所を整備してほしい。(男性／50 歳代／平鹿地域)
- 生活保護や様々な支援の対象とはなっていないが、収入が低い世帯への支援が必要。(女性／20 歳代／秋田地域)
- ネグレクトやヤングケアラーなどこどもの保護などに力を入れてほしい。(女性／30 歳代／秋田地域)

政策6 教育・人づくり

施策1 全てのこどもの健やかな心身と自ら学ぶ意欲を育てる

- 不登校支援について、学校以外の学びの場や相談体制を充実させる必要がある。（その他／50 歳代／秋田地域）
- スポーツで県外の強豪校に進学する人が増えているが、県内の高校に残って続けたいと思えるような環境を作してほしい。（女性／40 歳代／仙北地域）

施策2 新時代をたくましく生き抜く力を育てる

- 風力発電に特化した学科や大手企業と提携した学科など、秋田に来なければ学べない学科をつくってはどうか。（男性／60 歳代／平鹿地域）
- デジタル教育の充実により、生徒に都市部と同じ情報量、スピード感を持ってほしい。（女性／50 歳代／秋田地域）

施策3 「こどもまんなか社会」を支える環境を整備する

- 教育体制の整備は、教育の場で働いている人たちが“働きやすい”“やりがいを感じる”“これからも頑張っていきたい”と思えるような環境を整えることが重要。（女性／30 歳代／北秋田地域）
- 支援学校に行く程ではなく、普通学校で生活してはいるが友達とのトラブルも多い発達障害（グレーゾーン）のこどもが生きやすくなる支援をお願いしたい。（女性／30 歳代／北秋田地域）

施策4 地域社会の発展と産業振興に資する高等教育機関を活性化する

- 県内に学べる科目がなく県外へ行く若者が多いため、若者が学べる専門学校の種類を増やしてほしい。（女性／50 歳代／秋田地域）
- 教育機関が秋田市に一極集中しているので、秋田市以外に高等教育機関の設置や誘致をお願いしたい。（男性／70 歳代／仙北地域）

施策5 誰もが生涯を通じて学び活躍できる環境を構築する

- せっかく大きな美術館や博物館があるので、首都圏で話題となっている展覧会やSNSで話題の展覧会を誘致してほしい。（女性／40 歳代／秋田地域）
- 県の寺社仏閣の重要文化財の保護に対する認識が甘いのではないか。地域住民が維持・管理・運営のために負担して維持しているものがあるが、人口減少下においては自治体が支援すべき。（男性／30 歳代／秋田地域）

政策 7 防災・減災・県土強靱化

施策 1 気候変動等に対応した災害に強い地域社会を実現する

- 近年、県内各地で頻発・激甚化している大雨災害や豪雪に備えたインフラの強靱化、気候変動に対応できる地域づくりを推進してほしい。（男性／40 歳代／秋田地域）
- 地域の「防災無線」の放送内容が聞き取れず、肝心の嵐の時にはまったく聞こえなくなってしまう。緊急放送内容がきちんと届くように、少なくとも「役場・学校・保育園・公民館等」の屋内には受信機を設置することなど、県として地域に対し指針を提示できないか。（男性／70 歳以上／秋田地域）

施策 2 社会経済活動を支えるインフラを強化する

- 高速道路を整備することが県外からのアクセスの良さに一番つながるので、まずは、山形まで早急に高速道路を延ばしてほしい。（男性／40 歳代／秋田地域）
- 雪国なので、歩きやすい融雪歩道の整備をしてほしい。（女性／50 歳代／秋田地域）

施策 3 持続可能なインフラマネジメントを実現する

- 人口減少が進む中においても、安全で安心な暮らしを支える道路、河川、橋梁などの維持管理を着実に進めるとともに、地域を支える建設業やものづくり産業の担い手確保に力を入れてほしい。（男性／60 歳代／秋田地域）
- 地方道の整備にもっと力を入れてほしい。観光地までの道路が老朽化してひび割れ等が目立つ。（男性／30 歳代／山本地域）

政策 8 環境・くらし

施策 1 豊かな自然と良好な環境を次世代に継承する

- 今までの生活がクマの出現により一変した。畑仕事をするにしても、庭の草むしりをするにしても、散歩するにしても、恐怖とストレスを感じる。クマ対策をしっかりとやってほしい。（女性／70 歳代／平鹿地域）
- 出没したクマを駆除するだけでなく赤外線カメラを搭載したドローンでクマの居場所を特定するなど攻めの駆除を行ってはどうか。（男性／70 歳以上／秋田地域）
- 重要な事が多い中で、自然環境の維持改善は将来への責任でもあり、目の前の事象と次元を変えた取組は豊かな自然を有する秋田県として強化していただきたい。（男性／60 歳代／仙北地域）

- デジタル化や利便性を追求することも大切だが、秋田のもつ魅力をどれだけ高め生かすことができるか、それこそが秋田県が生き残るために必要なことだと思う。豊かな自然の保全と活用に力を入れ、魅力を発信することにも力を入れてほしい。(女性／40 歳代／仙北地域)

施策 3 犯罪・事故のない誰もが穏やかで安全に暮らせる地域を実現する

- 歩行者、特に通学時の子ども達の安全が脅かされないよう十分な除雪をお願いする。(女性／60 歳代／北秋田地域)
- 振り込め詐欺が無くなる取組をお願いしたい。(男性／40 歳代／雄勝地域)
- スクールゾーンにも関わらず 80 キロ超で走行する車両を見かける。移動式オービスを各警察署に配備するなど、通学路での常時速度取締りを実施してこどもの安全確保を図っていただきたい。(男性／70 歳以上／仙北地域)

施策 4 快適で質の高い生活環境を実現する

- 県民の中にも自分の様なアナログ生活をしている方々がいると思う。すべてデジタルでなく、紙での連絡を無くさないでいただきたい。(女性／70 歳以上／平鹿地域)
- 公共でのデジタル、電子化の整備がまだまだ発展途上で首都圏とのギャップを感じる。(女性／20 歳代／秋田地域)

県政全般に対する意見・その他

- 行政の取組や支援制度について、ウェブサイトに掲載するだけでなく、SNS や学校・大学、企業、地域コミュニティ、民間サービスとの連携などを活用し「知ろうとしている人」だけでなく、「まだ知ろうとしていないが、潜在的には必要としている人」に届く広報を強化してほしい。特に若年層への広報力を、今後さらに重視してほしい。(男性／20 歳代／秋田地域)
- マーケティング戦略課を大いに活用し、魅力ある(町作り、農林水産業、医療体制、教育等)県を作してほしい。県の方々が考える魅力と県民の望む魅力が同じ方向を向く必要がある。(男性／50 歳代／仙北地域)
- 県が民間企業同様に目標を設定し、未達の場合には誰に責任があり、どのような責任を取るのか明確に決めてほしい。毎年人口減となっても「しかたない」ではなく、責任をとれる県庁職員になってもらいたい。仕事や責任に対して甘い。(男性／50 歳代／秋田地域)
- こどもが無料で遊べる施設(室内)がもっとあるといい。若者が魅力的に感じる首都圏などにある商業施設が秋田にあれば流出しないのではないか。(女性／20 歳代／秋田地域)

- 人口減少対策は、他県で見られない「秋田にきたらこんなにいい事がいっぱい」的な情報発信のボリュームアップなど、多角的な情報発信に尽きる。情報をコントロールし周知してもらい理解してもらう、そのための人材を育ててほしい。(女性／60 歳代／秋田地域)
- 物価高で中所得者でも苦しい。誰もが恩恵を受けられる給付金を支給してほしい。(男性／20 歳代／鹿角地域)
- 秋田県は秋田市の一極化が進みすぎていると思う。秋田市以外の市町村は過疎化が進んでおり、人口の減少が止まらない。県政がもっと県民、市民に寄り添ってくれる事を期待する。(男性／40 歳代／山本地域)
- 少子高齢化が極端に進んでいるが、秋田県という枠にとらわれず、東北全体で同じ方向に向けた施策が求められているのではないか。(男性／70 歳以上／秋田地域)
- 秋田県の若者の人材育成に力を入れてもらいたい。資格取得の為の学費無償、資格試験受験料無償、交通費無償など検討していただきたい。(女性／50 歳代／秋田地域)
- クマ対策も兼ねて、住居に近いところにある持ち主のはっきりしない耕作放棄地の刈り払いや活用について、県が主導してほしい。(女性／50 歳代／秋田地域)
- 若者が住みたくるように食べ歩きができる観光地や遊園地を作ったらよいと思う。現在、高齢化が進み田や畑を作る人が減少しているので、その場所を活用するのはどうか。(女性／50 歳代／由利地域)
- 若者が楽しめる場を増やすとともに、老人が交流できる場所があったら良い。(女性／70 歳以上／秋田地域)
- 郷土料理や伝統芸能、当たり前前の景色になっている山々や川など、地域に眠っている魅力を県民内で共有するとともに、全国に発信すべき。(男性／40 歳代／山本地域)
- 全国でも高齢化と人口減少が進む中、全国に先駆けて人口の集約や公共事業の集約など今までに無い政策を実現し、モデルとなるべき。そのためには、旧体質な政策ではなく先進的な施策を打たなければならない。(男性／50 歳代／秋田地域)
- 社会減対策が注目されがちだが、一定の成果をあげたとしても人口が大幅に減少することは避けられない。コンパクトに生きていける環境についての議論をもっとするべきではないか。2060 年の人口予測を把握できている県民は少ない。そのようなリアルな情報を県民が正しく認識した上で議論を早く始める必要がある。(男性／秋田地域／30 歳代)
- 子どもや若者への支援体制を整える動きがあることはいいことだが、それを税金で支える世代への扱いが悪くなってきている。子どもの親世代が秋田で暮らしにくいと思っていたらその子どもは秋田での未来に希望をもてるだろうか。(女性／50 歳代／鹿角地域)